

アイルランドとのホストタウン事業

(平成30年10月26日～11月8日)

平成30年10月26日（金曜日）から11月8日（木曜日）にかけて、アイルランドパラ水泳チームが本市を拠点にトレーニングキャンプを実施しました。これは、ホストタウン事業の一環となります。

また、キャンプ期間中において、水泳教室の開催や学校を訪問していただくなど、市民の皆様とも交流していただき、他にも、成田山新勝寺や房総のむらを散策するなど、日本の文化にも触れていただきました。

なお、今回は現在試行的に運用しているスポーツツーリズム人材バンクに登録いただいている方々にご協力いただき、質の高いおもてなしを実施できたことにより、チームから高い評価をいただきました。

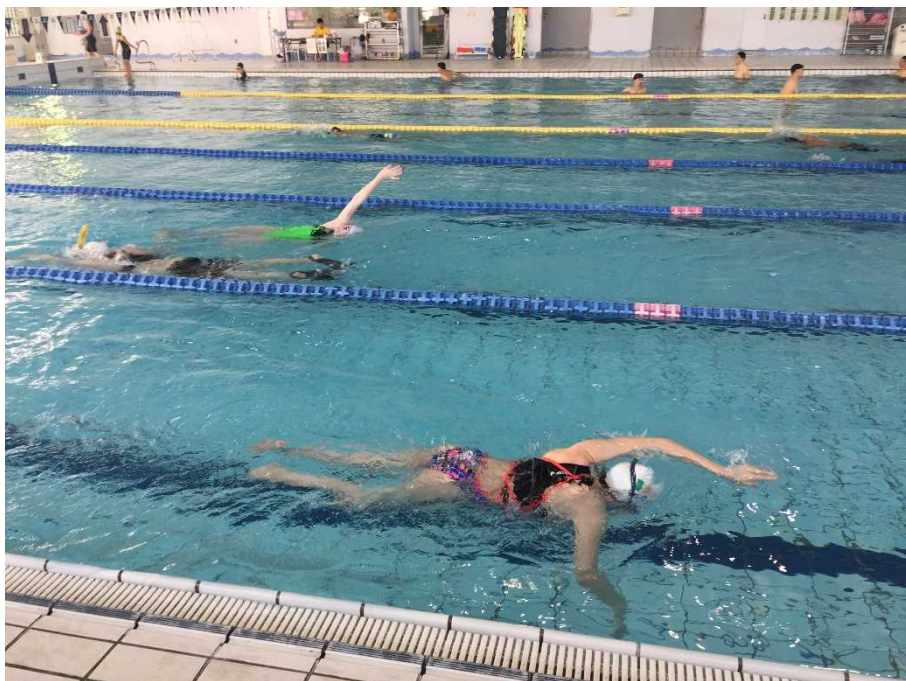
練習：千葉県国際総合水泳場（10月27日～11月3日）

10月27日から11月3日まで、習志野市にある千葉県国際総合水泳場において練習を行いました。

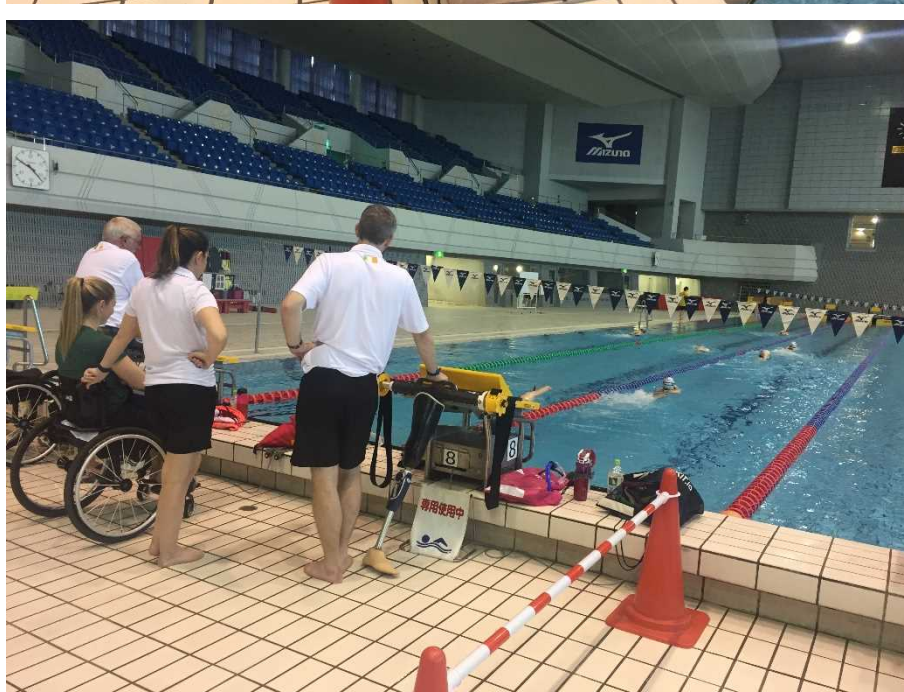
千葉県国際総合水泳場においては、基本的には長さ50mで水深が2mあるメインプールで練習を行いましたが、大会などで使用できない日は、同じく長さ50mで水深が1.2mから1.4mあるサブプールを使用して練習を行いました。また、そのうちの2日は場内にあるトレーニングジムも利用しました。

《サブプール》





《メインプール》







《トレーニングジム》





練習：イオンスポーツクラブ 3FIT (11月5日～11月7日)

11月5日から11月7日にかけては、イオンモール成田にある、イオンスポーツクラブ 3FIT の協力のもと、同施設にあるプールにおいて練習を行いました。

営業中の利用者が少ない時間帯は、25mプールの3レーンを専用使用させていただき、営業前の早朝の時間帯には、6レーン全面を使用して練習をさせていただきました。





カルチャーデー：成田山新勝寺、房総のむら（10月28日）

アイルランドパラ水泳チームに日本の文化を体験してもらうことを目的として、成田山新勝寺と房総のむらを案内しました。

その案内については、新勝寺を案内するボランティアガイドや、ガイド経験豊富なスポーツツーリズム人材バンク登録者にお願いし、チームからは大変好評をいただきました。

新勝寺の案内では、ボランティアガイドに熱心に質問するアスリートたちの姿が多く見られ、非常に関心が高い様子が伺えました。

また、房総のむらでは、日本の昔ながらの商家の町並みや武家屋敷、農家などを見学し、竹馬など、昔の遊びを体験して楽しんでいただきました。

《成田山新勝寺》







《房総のむら》









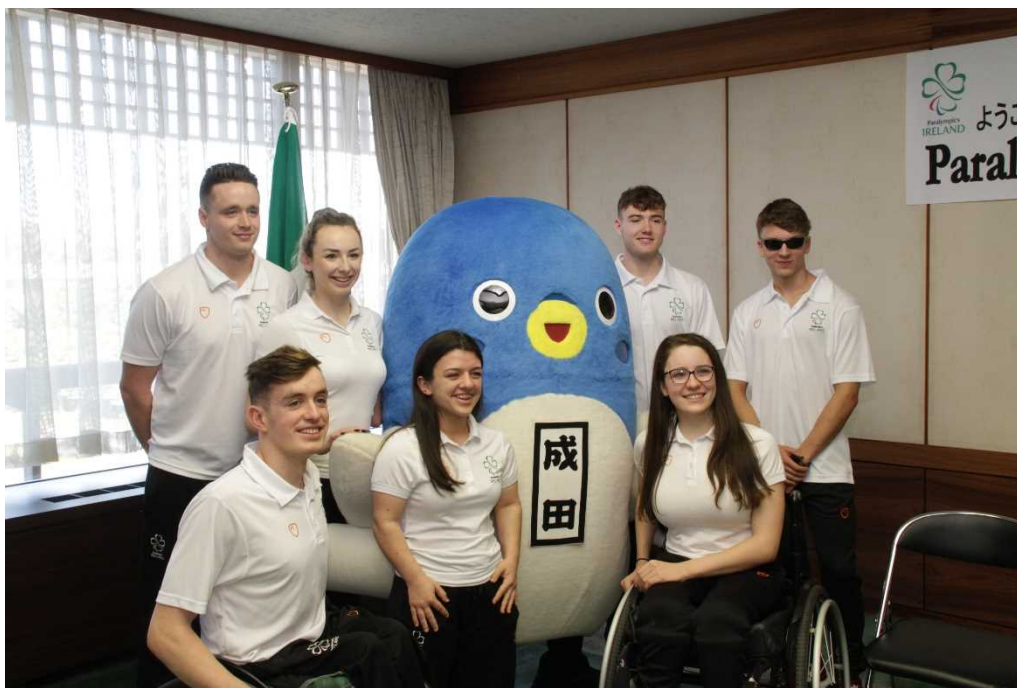
市長表敬訪問（10月29日）

練習の前に小泉市長を表敬訪問しました。市役所正面玄関前において、大勢の職員の出迎えに、チームも大変感激していました。

表敬訪問では、小泉市長や伊藤市議会議員から歓迎の言葉や交流イベントなどに対する感謝の言葉が伝えられ、チームの代表からは、今回のトレーニングキャンプに係る受け入れ体制やホスピタリティに関して感謝の言葉をいただきました。







交流イベント：水泳教室（11月4日）

市内中学校の水泳部の生徒を対象に、水泳教室を開催していただきました。

参加者は50名で、イオンスポーツクラブ3FITの協力のもと、イオンリテールに所属する、シドニー・アテネ両オリンピックに出場した田淵晋さんの司会進行により行われました。

最初に、アスリートの泳ぎを実際に見ていただくことにより生徒の参考とするためのデモンストレーションや、コーチやアスリートによる指導、そして最後は、アスリートと生徒たちが一緒にチームになりリレーを行い、会場は大いに盛り上がり、お互いに交流を楽しんでいただきました。









レセプション (11月4日)

水泳教室後の夜、水泳教室の御礼の気持ちも込めて、アイルランドパラ水泳チームをお招きし、宿泊ホテルにおいて、レセプションを開催しました。その際、あづま下座連及び東栄会のお囃子や踊りを披露し、チームの皆様にも、成田の文化にも触れていただきました。





交流イベント：栄特別支援学校訪問（11月5日）

成田の子供たちも通う、栄特別支援学校を訪問していただきました。

体育館に到着すると、子供たちが描いた、アイルランドの国旗を振って歓迎いただき、チームの皆様も母国の旗に、嬉しそうな表情を浮かべていました。

学校からは激励発表として、高等部は和太鼓を演奏、中学部はダンスを披露し、小学部はみんなで輪になり、パラバルーンを皆で手に持ち上下に動かしたり回したりと、一緒に楽しんだ後、最後は、全校で踊るダンスにチームの皆様も参加していただく形で、手を取り合いながらダンスを踊り、交流を深めました。

ダンスが終わった後、プレゼントの贈呈があり、全員で記念写真を撮り、チームは児童生徒たちが作った道をハイタッチなどしながら、会場を後にしました。















交流イベント：久住小学校訪問（11月5日）

栄特別支援学校の後、久住小学校を訪問しました。

久住小学校では、体育館に到着すると5、6年生に拍手で歓迎され、まずは合唱を披露した後、5年生が7グループに分かれて校内を英語で案内しました。子供たちは、緊張した面持ちでしたが、段々と打ち解け、終わりの方では、何とか少しでも多く案内しようと、時間ぎりぎりまでチームの皆様を案内していました。

その後体育館で、記念品を贈呈した後、栄特別支援学校と同様に、チームは児童が作った道を通して会場を後にしました。













ボランティア

今回の事前キャンプにおいては、試行的に運用しているスポーツツーリズム人材バンクに登録いただいている方の中から、練習を行う際の通訳として、日常会話程度の英語ができる方にボランティアとしてご活躍いただきました。

また、そのほかにも、カルチャーデーの際に、普段のボランティアの経験を生かして英語でガイドをしていただいたり、水泳の経験を生かして交流イベントの際に通訳を兼ねて運営サポートをしていただくなど、様々な協力をいただきました。

参加された皆様からは、「非常に貴重な経験となった。」「素晴らしいチームに関わって幸せ。」「2020年に向けてやる気がでた。」「パラスポーツに感動した。」などといった感想が寄せられました。





